



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第9号

2004. 8. 23

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県芸北町にある山の名前です。

一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- 第5回臥竜山麓自然再生事業検討協議会が開催
- 『フィールドガイド芸北の自然』を発売

活動報告

- 植物標本とスケッチ
- バードコールを作ってみよう

観察会案内

- 鳥類相調査
- 植生調査
- 深入山の植物

花だより

- キバナアキギリ
- タンナトリカブト
- ミゾソバ

おしらせ

第5回臥竜山麓自然再生事業検討協議会 が開催されました (2004.8.17)

上記の会議が芸北町民文化ホールで開催され、近藤会長（西中国山地自然史研究会）と白川が出席しました。会議では土嶽地区で行われた調査について報告がなされ、来年度からの計画について協議されました。

【広島県：議事録】

<http://www.pref.hiroshima.jp/kaigi/gjjirokuindex.html>

『フィールドガイド芸北の自然』を発売中です

(2004.8.10)

芸北の生物を紹介した小さな図鑑、『フィールドガイド芸北の自然』が発売されました。この本は、植物120種、昆虫60種、魚類7種、両生類13種、爬虫類5種、鳥類50種、哺乳類10種について、特徴や観察時期、生息環境について解説しています。もちろん、すべての種について写真も掲載しています。

『フィールドガイド芸北の自然』

【価格】1,500円

【編集・発行】芸北町教育委員会

【協力】西中国山地自然史研究会

活動報告

植物標本とスケッチ

開催日時：8月8日（日）9：30～
講師：佐久間智子・白川勝信
集合場所：八幡高原センター
主催：西中国山地自然史研究会
協力：高原の自然館、芸北町民文化ホール

「夏の自由研究お手伝い・・・」ということでご案内したのですが、蓋を開けてみると「夏休みを思い出そう」企画になっていました。8人という少人数も「夏休みの宿題を、友達の家を集まってやっている」という雰囲気でもなかなか良かったと思います。普段は説明を聞きながらあれこれと話が飛び交う観察会ですが、今回はみなさん無言のままじっくりと植物を見つめていました。終了を予定していた時刻に、ちょうど小学校のチャイムが鳴り、緊張感がぱっと解けて、スケッチを終えました。ひとつの植物をつぶさに観察することで、今までに無かった観察眼が養われたようです。これから野外に出た時には、植物が少し違って見えるかもしれませんね。なお、製作した標本は、自然館に展示する予定です。お楽しみに！（参加されたみなさん、よろしくおねがいますね）



まずは新聞を準備するところから。



新聞の上に置いてみて、絵の構図を決めるように、標本にする部位を探します。センスが問われるところ。



はじめに、標本を作る意味や、どのように活用されるのか、などをスライドを使って説明して頂きました。



小さいものを押すのはちょっとタイヘン。



先生の指導に、真剣に聞き入る参加者。



ユリノキ



続いてスケッチの時間。みんな本当に真剣で、数十分間、会話も無く、あっという間に過ぎていきました。



メヒシバ。イネ科を選ぶところが渋い！



ご夫婦で仲良くスケッチ。いいですね。



スケッチが終わった後には、仮押ししておいた標本を見ながら、少しずつ形を修正しました。これも真剣。

活動報告

バードコールを作ってみよう

開催日時：8月22日(日)9:30～
講師：暮町昌保・山本保秀
集合場所：八幡高原センター
主催：西中国山地自然史研究会
協力：高原の自然館，芸北町民文化ホール

夏休みも終盤を迎え，いろいろ行事も目白押しなのか今回も8人の参加にとどまりました。バードコールの材料としてナツツバキ・サクラを使用しました。最初に実演見本を見せてもらったのですが，初めて電動ドリルなどを使うのはドキドキしました。上下とも中央になるようにうまく穴が開かずに，何回か作り変えたり，後ろの穴ふさぎに苦労しました。サンドペーパーで仕上げて出来上がり。竹笛は一見簡単そうですが，削りすぎてこれも何度かやり直し。仕上がりや，添えの竹の角度，息の吹き方なども子どもたちのほうが上手で良い音を鳴らしていました。竹笛2種目は，吹き口に詰める木の調節がなかなかうまくいかず（ナイフ使いに問題あり），時間もすぎて残念ながら終了しました。「何度か作るとうまく鳴る笛ができるようになります」とは山本先生の言です。



素材として，ナツツバキ・サクラ・ナンテンなど



先生の手元を観ながら，説明を聞く



まず，素材にする木を選び，適当な長さ（5cmくらい）に切る



電動ドリルの動きをのぞき込む目は真剣



電動ドリルに素材の木をセットして、穴をあける



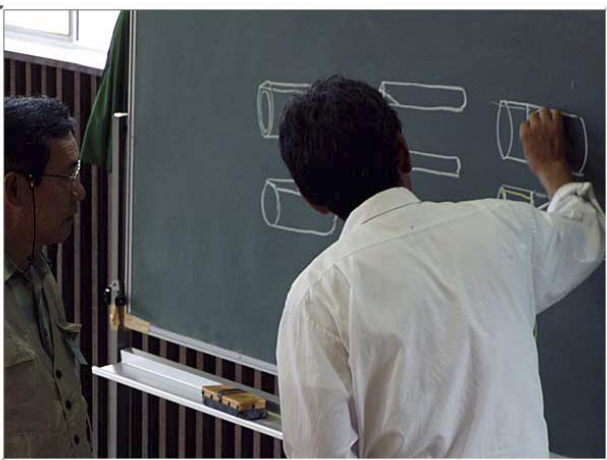
竹を5cm くらいに切る



穴にネジを差し込むと、それらしい音がしてくる



詰め物の木を削るのが、難しい



竹笛2種の作り方



バードコール・竹笛それぞれ完成！
さあ、演奏してみよう

観 察 会 案 内

● 鳥類相調査

今回の調査では、渡りの途中で土嶽地区を通過している鳥類を観察します。当日は、道路を歩きながら観察・記録していく他、ネットを使った捕獲調査（バンディング）の様子も見学します。野鳥を手にとり、間近で見られる貴重な機会です。

開催日時：9月12日（日）9：30～

講師：斎藤隆登・佐久間智子

集合場所：高原の自然館

準備：山を歩ける服装、弁当、雨具、双眼鏡、ルーペ、図鑑、メモ、おやつ等

（◆かりお茶屋もご利用いただけます）

定員：30名（必ず予約をしてください。）

● 植生調査

土嶽地区で調査を始めてから、5回目の調査になります。今回は、前回の夏の植生調査に続き、実験地設置場所を調査します。

開催日時：9月19日（日）9：30～

講師：斎藤隆登・佐久間智子

集合場所：高原の自然館

準備：山を歩ける服装、弁当、雨具、双眼鏡、ルーペ、図鑑、メモ、おやつ等

（◆かりお茶屋もご利用いただけます）

定員：30名（必ず予約をしてください。）

－ インターネット版のご紹介－

苅尾電波塔はe-mailでも発行されています。また、高原の自然館ホームページからはpdfファイルをダウンロードできます。インターネットを利用すれば、関連ホームページにジャンプしたり、写真をカラーで見られたりと、便利です。

高原の自然館では、紙資源の節約と事務処理の軽減のため、インターネットの利用をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。

8月25日から29日まで、北海道釧路市で日本生態学会が開催されます。プログラムを見ていると「自然再生」という言葉がたくさん発表題目の中に見られます。各地で展開されている自然再生事業の成果や調査結果が揃い始めたということですね。今回の学会では、僕も地下水位の測定結果について発表してきます。何よりも、釧路は湿原再生の先進地。しっかり見てきます。

● 深入山の植物

毎年、秋には雲月山の植物観察が恒例だったのですが、今年は深入山に登ります。深入山は、現在でも山焼きが続けられており、特殊な植生が残されています。山焼きが行われなくなって久しい雲月山との違いを探すのもおもしろいかもしれませんね。

開催日時：9月26日（日）9：30～

講師：暮町昌保・斎藤隆登・和田秀次

集合場所：深入山山の家（かも八前駐車場）

準備：山を歩ける服装、弁当、雨具、双眼鏡、ルーペ、図鑑、メモ、おやつ等

定員：30名（必ず予約をしてください。）

参加料：1,000円（ただし、会員は無料）

花 だ よ り

都市部では、まだ暑い日があるようですが、八幡はすっかり秋の気配です。曇った日や朝晩などは、特に冷え込みますので、長袖の上着を1着余分に持って散策しましょう。

【キバナアキギリ】

秋のブナ林を代表する草花。シソ科なので、指で茎をそっとこすってにおうと、独特の香りがある。

【タンナトリカブト】

リンドウ、クズ、キキョウなどと並び、秋を代表する紫色のひとつ。猛毒があることで知られていますが、非常に美しい花を咲かせる。

【ミゾソバ】

比較的富栄養な湿地に群生するタデの仲間。茎には下向きの小さなとげがたくさんあり、株同士が互いに絡み合うように生える。小さな小さな花だが、赤から白まで変異が多く、見ていて飽きない。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡芸北町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/>

nature@town.geihoku.hiroshima.jp